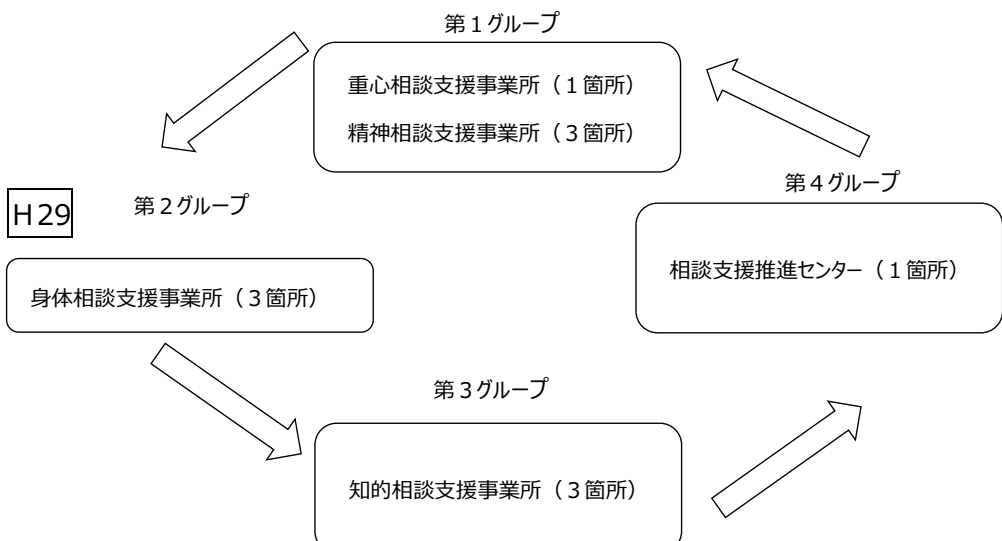


# 資料 2-1

## 平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	就労支援部会
目的	障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う
役割・内容	障がいのある方の職場定着に向けての具体的な取組みについて検討する
部会員	自立支援協議会委員：中村文久委員（部会長）、池田委員、大野委員、中村章次委員 関係機関：静岡障害者職業センター、静岡市発達障害者支援センター
活動内容	<p>平成 29 年度の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会の開催</li> </ul> <p>第 1 回 平成 28 年度部会活動報告、新年度活動内容について（H29.6.2） 第 2 回 富士市ジョブマッチング会議視察（H29.6.21） 第 3 回 ゆうやけ相談会実施について打合せ（H29.7.18）</p> <p>以上開催済み。今後年度内で複数回開催予定。</p> <p>※平成 28 年度の活動について、平成 28 年度第 2 回自立支援協議会にて報告済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうやけ相談会の開催</li> </ul> <p>第 3 回 ゆうやけ相談会開催 平成 29 年 7 月 27 日（木）17:00～20:00 5 風来館 4 階</p> <p>ゆうやけ相談会は「職場（就労）定着支援」のための取り組みとして、障がい者が仕事帰りに気軽に立ち寄り相談や交流を行うことで、士気を向上させることを目的に、昨年に引き続き行っていく。</p> <p>取組への連携、今後の展開を視野に入れ、部会メンバーについては、必要に応じて圏域内の就労支援機関や関連部局（行政）、特別支援学校に呼びかけを行っていく。</p>
今後の予定方向性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場定着のためには採用段階でのマッチングが重要と考えている 圏域内で求人側と求職側とが顔を合わせる機会（そのような仕組み）を協議、検討</li> <li>・圏域内の就労支援機関のレベルアップを図るための取組を協議、検討</li> </ul>

平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援事業評価部会
目的	質の高い相談体制を整備し、相談支援事業の充実・強化を図る
役割・内容	①市相談支援事業の評価基準・評価方法の検討 ②事業者評価の実施
部会員	自立支援協議会委員：飯塚委員、畠山委員、萩原委員、斉藤委員、池田委員 関係機関：静岡市身体障害者団体連合会、静岡市清水手をつなぐ育成会、静心会 オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課、地域リハビリテーション推進センター
<p>活動予定</p> <p>※平成 28 年度の活動について、平成 28 年度第 2 回自立支援協議会にて報告済</p>	<p>1 平成 29 年度評価体制（案）について</p> <p>① 自己評価の実施 対象：障害者相談支援推進センター（1 箇所）・委託相談支援事業所（10 箇所）</p> <p>② 事業評価の実施（利用者アンケート、ヒアリング等） 対象：身体（3 箇所）</p> <p>2 各評価の評価項目や評価基準について 8 月以降の評価部会等で決定する予定。</p> <p>3 今後の実施方法（案）</p> <p>① 自己評価：対象事業所（11 箇所）について毎年度実施</p> <p>② 事業評価：対象事業所を 4 グループに分け、毎年度 1 グループについて実施 H28 第 1 グループ→H29 第 2 グループ→H30 第 3 グループ→H31 第 4 グループ (以降第 1 グループに戻り順位実施)</p> 
今後の予定 方向性など	<p>8 月 第 1 回部会の開催</p> <p>9～10 月 利用者アンケートの実施</p> <p>11～12 月 第 2 回部会の開催</p> <p>2 月 第 2 回障害者自立支援協議会において結果報告</p>

平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	権利擁護・虐待防止部会
目的	障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。
役割・内容	①権利擁護・虐待防止に関する普及・啓発策の検討 ②虐待事例の情報共有及び検証 ③障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討 ④障害者差別解消支援地域協議会についての検討（平成 28～29 年度）
部会員	自立支援協議会委員：原田委員、渡邊委員、中村文久委員、飯塚委員 関係機関：ひまわり事業団ピアサポート 李氏、社会福祉士 安藤氏
活動内容	<p><u>平成 28 年度 障害者虐待事例検証会議</u>（H29.3.16）          テーマ：事業所虐待事例対応について          社会福祉士によるスーパーバイズを受けながら、検証会議を行った。客観的に判断し、終結の仕方を統一するためにも、障害者虐待リスクアセスメント・チェックシートを試行的に導入し、検証することとした。</p> <p><u>障害者差別解消支援地域協議会について</u></p> <p>1 平成 28 年度第 1 回（H28.7.11）          平成 30 年度に協議会を正式設置するよう、施策推進協議会からの依頼を受け、協議会のあり方について部会で検討。          検討にあたっては、障がいのある市民等からの相談や他市の取組みの状況等を考慮。</p> <p>2 平成 28 年度第 2 回（H28.11.21）          相談や他市の取組みの状況について途中経過を共有。          静岡市障がい者計画等策定にあたり実施する関係団体ヒアリングの機会を活用し、協議会に係る意見聴取を行うよう提案。</p> <p>3 平成 29 年度第 1 回（H29.6.14）          相談や他市の取組みについて、法施行後 1 年時点での状況を共有。          事務局案を提示し、案について審議。</p> <p>4 平成 29 年度第 2 回（H29.7.6）          協議会のあり方について、部会としての案を作成。</p>
今後の予定 方向性など	<p>障害者自立支援協議会から障害者施策推進協議会に案【資料 2 -2】を報告し、障害者施策推進協議会から市に対して、協議会の設置及びあり方について提示。          平成 30 年度から協議会を正式に設置。</p>

平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
プロジェクト名	強度行動障がい者支援施設サポートプロジェクト
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「行動に課題のある人への支援」をテーマとし、支援について検討する。
役割・内容	「行動に課題のある人への支援」として、強度行動障がい者をサポートする施設の対応能力の向上を図る施策を検討、実施する。
部会員	自立支援協議会委員：遠藤委員、檜垣委員 関係機関：静岡市障害者相談支援推進センター 堀越氏（座長） 地域支援サービスまあぶる 望月氏、静岡市清水手をつなぐ育成会 佐野氏 静岡市発達障害者支援センター 山川氏
活動内容	<p>強度行動障がい者支援施設サポート事業の実施</p> <p>【事業概要】 強度行動障がいのある者を受け入れしている通所事業所及び入所事業所から、対応が困難な利用者への支援についての助言・指導の申請があった場合に、アドバイザー等を派遣し、適切な支援についての指導、アドバイスを行う。あわせて、事例等の検証会を開催し、支援技術の情報共有を行うことで事業所の支援力の向上を図る。</p> <p>※地域生活支援事業、後藤磯吉・悦子福祉及び教育奨励基金を活用</p> <p>【対象】・通所事業所（生活介護、放課後等デイサービス、就労継続支援 B 型等） ・入所事業所（H29.4.1 より開始） ・検証会 市内サービス提供事業所</p> <p>平成 28 年度実績（通所事業所サポートを実施） ・通所施設サポート事業 アドバイザー派遣回数 24 回（派遣施設数 11 事業所）</p> <p>平成 29 年度（通所及び入所事業所サポート） ・平成 28 年度に実施した通所施設サポート事業に加え、入所施設サポート事業を開始 モデル施設 1 施設についてサポートを実施中。 障害者支援施設「宍原荘」を入所サポートモデル施設として実施。選定はプロジェクトにて決定。そのほか、希望する施設を募集中。 【コンサルタント：社会福祉法人つつじ所属】 広島県地域支援マネジャー 水野敦之氏</p> <p>入所施設サポート：第 1 回（H29.7.13） ・支援状況についてのアセスメント、スーパーバイズ ・支援方法についての講座等 今後、9 月、11 月にサポート予定</p>

	<p>通所施設サポート：申請 2 件            年度内派遣回数予定 24 回</p> <p>検証会の開催（2 回開催済）            第 1 回：駿河会場（H29.7.11 出席 26 名）            第 2 回：清水会場（H29.7.14 出席 25 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度のサポート事業事例紹介、検証</li> <li>・平成 29 年度の事業説明を行い、通所施設サポートへ 2 件の申請があり、入所施設サポートモデル施設への見学に 2 件の応募があった。</li> <li>・今後、虐待防止講演会とあわせ、事例検証会を 12 月に開催予定</li> </ul>
<p>今後の予定            方向性など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート事業の利用を促し、市内全体での支援力の向上を目指す</li> </ul>

平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
プロジェクト名	ヘルパー人材確保・養成プロジェクト
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「ヘルパー不足への対応」をテーマとし、対応策について検討する
役割・内容	ヘルパー不足への解消に向けた対応策を検討、実施する
部会員	<p>自立支援協議会委員：萩原委員、斉藤委員            関係機関：静岡市相談支援推進センター、            障がい者ヘルパー事業所ネットワーク静岡 山本代表（座長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピロス 青野氏</li> <li>・まあぶる 望月氏</li> <li>・移動支援事業所：めぶきの会、百花園</li> <li>・相談支援事業所：障害者生活支援センター城東、ひまわり事業団、なごやか</li> </ul>
活動内容	<p>第 1 回 ヘルパー人材確保・養成プロジェクト開催（H29.7.20）</p> <p>○ガイドラインの作成            ヘルパー業務に従事する人が不足しているという課題から、障がいのヘルパー業務について知ってもらうため、ガイドライン（冊子）を作成することとした。</p> <p>ガイドライン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向け（3 障がいの特性や障がいのある方とのお付き合いの仕方等）</li> <li>・利用者向け（ヘルパーとのお付き合いの仕方等）</li> </ul> <p>プロジェクトにて、仕様を検討していく。</p> <p>○介護事業所へ障がい分野への参入を呼びかける            介護事業所に、障がい分野のことを知ってもらい、事業として参入してもらうため、2 月に開催される介護事業所集団指導の際に、説明を行う。</p>
今後の予定 方向性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの作成にむけて検討していく</li> </ul>

平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
プロジェクト名	地域生活支援拠点プロジェクト
目的	障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「地域生活支援拠点」をテーマとし、その地域における役割について検討する
役割・内容	地域生活支援拠点の地域における役割等を検討する
部会員	<p>自立支援協議会委員 渡邊委員、檜垣委員、遠藤委員、岡庭委員、</p> <p>関係機関 静岡市相談支援推進センター 堀越氏 静岡市清水手をつなぐ育成会 佐野氏 委託相談支援事業所 (葵区・精神) なごやか 渡邊氏、石割氏 (駿河区・身体) ピアサポート 李氏、劉氏 (清水区・知的) わだつみ 加藤氏 障害福祉サービス事業所 まあぶる 望月氏</p>
活動内容	<p>平成 28 年度からプロジェクトを開始し、6 回の協議を行い、地域生活支援拠点における 5 つの機能を「相談」「緊急時の受け入れ」「体験の機会・場」「<u>専門性</u>」「地域の体制づくり」とした。</p> <p>平成 29 年度は、「体験の機会・場」について、グループワークでの協議が終了した。今後は、地域生活支援拠点における機能ごとの関係機関の役割や目指す姿を「中長期計画」としてとりまとめていく。</p> <p>平成 29 年度地域生活支援拠点プロジェクトの開催 第 7 回 (H29.5.19) 「体験の機会・場」の機能として、目指す姿・必要なものをグループワークで協議 第 8 回 (H29.6.23) 「体験の機会・場」の機能として、資源と役割をグループワークで協議</p>
今後の予定 方向性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 9 回 (8 月開催予定) にて、5 つの機能を実現させるための「中長期計画 (案)」をとりまとめ、プロジェクトとして決定していく。</li> <li>・地域生活支援拠点は、平成 30 年度運用に向けての情報共有や具体的な準備を進める。</li> </ul>

平成 28 年度及び平成 29 年度 専門部会の活動について

部会名	地域移行支援部会
目的	障がいのある方の地域移行の推進や安心した地域生活を実現するための支援体制の整備に関わる課題や手法等を協議する。
役割・内容	市内精神科病院に長期入院している精神障がい者の地域移行や地域生活支援に係る課題の抽出・検討、事例の検証、課題解決のための仕組みづくりを行う。 ※身体障がい、知的障がいのある方の地域移行支援については今後検討していく予定。
部会員	自立支援協議会委員：岡庭委員 関係機関：静岡県精神科病院協会、日本精神科看護協会静岡県支部、静岡県作業療法士会、静岡県精神保健福祉士協会、静岡県弁護士会、精神障がい者家族会、静岡市民生委員児童委員協議会、基幹相談支援センター、相談支援事業所(精神)、就労系サービス事業所、ワーキンググループ長、(当事者) ※ <u>当事者</u> については、ピアを育成していく過程で選出していく予定。
活動内容	1 地域移行支援部会（開催：年 2 回） ○平成 28 年度第 1 回 【開催日】平成 28 年 12 月 5 日(月) 【協議内容】①静岡市における精神障がい者の地域移行支援の課題について ○平成 29 年度第 1 回 【開催日】平成 29 年 6 月 6 日(火) 【協議内容】①退院支援専任相談員の取り組み状況と課題について ②地域移行支援ワーキンググループの取り組み状況と課題について ③地域移行支援部会委員（当事者）の選出方法について  2 精神障がい者地域移行支援ワーキンググループ（開催：月 1 回） ○平成 28 年度 ・平成 29 年 1 月、既存の退院支援連絡会を専門部会のワーキンググループとして位置づけた。 ・相談支援事業所に配置した退院支援専任相談員の活動報告を通して、事例の検証、地域課題の抽出・検討等を行う。 ・部会で協議された内容等から課題の検討、課題解決に向けた取り組みを行う。 ○平成 29 年度 ・課題解決に向けた取り組み内容 ⇒ 以下の 3 グループに分かれて協議を行う。 A グループ：新たな長期入院者（ニューロングステイ）の防止 B グループ：ピアサポーターグループの設置と活動の場の確保 C グループ：対象者及び退院支援者の意欲喚起 ・相談支援事業所に配置した退院支援専任相談員の活動報告を通して、事例の検証、地域課題の抽出・検討等を行う。
今後の予定 方向性など	8 月～ 3 月 精神障がい者地域移行支援ワーキンググループの開催 1 月 第 2 回地域移行支援部会の開催